

家庭でのかかわり
Part 2

認め、励まし、自信をもたせる

「結果」
を認める

「頑張り」
を認め、励ます

「結果」
を認める

できるようになったことなど、「結果」を認めることで…



自信につながり、自己肯定感や活動意欲が高まります。

「頑張り」
を認め、励ます

思うような「結果」に結びつかなくても、
これまでの「頑張り」を認め、励ますことで…



頑張ってきた自分に自信をもち、「またやってみよう」「あきらめないで頑張ろう」と
思えるような、くじけることのない、「たくましい心」が育ちます。

子どもが「できていないところ」に目が行きがちですが、
「できているところ」に目を向けることが大切です！



学校生活の様子について、何か気になることがあったら、
まずは、学校に相談してみましょう。

参考：学校以外の相談先

年長児の就学や、小中学生の学校生活（不登校・発達障がい・発音など）に関する相談
宇都宮市教育センター 639-4380・4381（予約制）

乳幼児を中心に、18歳までの子どもの発達に関する相談 ※ 面接相談は、乳幼児が対象
宇都宮市子ども発達センター 647-4720（予約制）

子育て全般（虐待問題を含む）に関する相談
宇都宮市子ども家庭課 子ども家庭支援室 632-2390

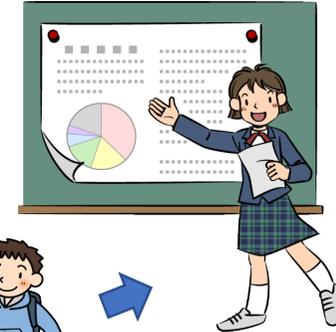
学校生活を支える

「家庭でのかかわり」 のポイント

バランスのとれたかかわり

愛情豊かに
支える

正しく
教え導く



認め、励まし、自信をもたせる

「結果」
を認める

「頑張り」
を認め、励ます

学校ってどんな場所？



学校の様々な経験の中で、子どもは成長する

学校の様々な経験の中で、知識や技能を身に付けるだけでなく、人間関係を築くことやルールを守ることの大切さを学んだり、与えられた役割を果たすことで責任感が養われたりするなど、学校は、子どもが将来社会で自立するための力を身に付け成長する貴重な場であると言えます。

学校では、自分の思いどおりにならないこともある

学校では、自分の希望や好みにかかわらず、決められた教科の学習をすることや、集団生活のルールを守ること、学級や学校行事等で様々な個性を持つ仲間と協力し合うことなどが求められます。また、自分の思いどおりにならなかったり、予想外のことが起こったりすることもあります。



だからこそ...



学校生活を支える家庭でのかかわりが大切です

子どもの年齢やそのときの状況に合わせて、
子どもを支えることができるように心がけましょう。



家庭での子どもへのかかわりについて考える
一つのきっかけにいただければ幸いです。

家庭でのかかわり Part 1

バランスのとれたかかわり

愛情豊かに
支える

正しく
教え導く

愛情

しつけ

バランスが大事！

愛情豊かに
支える



- 普段から言葉をかける
- 話をしっかりと聞く
- 一緒に遊ぶ、楽しむ、感動する
- 困っているときに助ける など

正しく
教え導く



- 基本的な生活習慣をしつける
- あいさつ、礼儀、マナーを教える
- 善悪の区別をはっきりと示す
- 手本を示す
- 行動を振り返らせる など



愛情豊かに子どもの心を支えることで...

- 自分は大切にされていると感じます。
- 信頼感や安心感につながります。



教えるべきことを正しく教え導くことで...

- 考える力や正しく判断する力が養われます。
- 社会生活を送るためのスキルを身に付けます。